

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S28	施策名	クラウドファンディングの推進				
担当部課	総務部財政課		関係部課	事業担当課			
基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営					
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進					
	法定受託事務の有無	無					
	その他(関係計画、要綱等)	無					
施策開始の背景、経緯等	ふるさと納税の広がりを受け、クラウドファンディングの手法を取り入れた寄附金募集を行う自治体が増えてきた。本市でも特定財源の確保策としてクラウドファンディングを実施する。						
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) ふるさと納税を活用したクラウドファンディングにより、市の特定の事業や市民団体等が実施する事業に対して寄附を集める。					
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 市の特定の事業や市民団体等が実施する事業					
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 寄附などの財源確保を図るとともに、事業のPRを行う。					
目標・成果推移等①	施策に係る取組①	クラウドファンディングの実施					
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)	
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標	
		3件の事業について寄附金を募集した。	引き続き5件程度の事業で寄附を募集する。	引き続き5件程度の事業で寄附を募集する。	引き続き5件程度の事業で寄附を募集する。	引き続き5件程度の事業で寄附を募集する。	
		費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	
		ふるさと寄附金(歳入)	14,266千円	ふるさと寄附金(歳入)	14,000千円	ふるさと寄附金(歳入)	14,000千円
		手数料・補助金(歳出)	12,354千円	手数料・補助金(歳出)	12,124千円	手数料・補助金(歳出)	12,124千円
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	
		(延べ) 465 人	(延べ) 500 人	(延べ) 500 人	(延べ) 500 人	(延べ) 500 人	
	目標・成果推移等②	施策に係る取組②					
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)	
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標	
		費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	
		(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	
活動状況		活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 日本介助犬協会、郷土史研究会、合同会社つむぎてが実施する事業について寄附を募集し、465件、14,266千円の寄附があった。				

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 対象団体を市内の社会福祉法人から拡大して寄附金募集を行った。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 広域的な社会福祉法人の事業に加え、市民団体(郷土史研究会)が実施する事業においても寄附があり、ふるさと納税を活用した団体支援方法の有効性が確認された。今後、こうした取組を広げ、市内の団体を支援する取組の一つとしていく。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 寄附金の増加による財源の獲得や、市民団体等の支援が期待できる。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 引き続き、ふるさと納税を活用したクラウドファンディングを実施していく。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		